

守山区将来ビジョン

人と自然の調和する
元気あふれるまち守山

令和2年5月
名古屋市守山区役所



目次

はじめに	2
守山区の特性と課題	3
守山区の将来像	6
将来像の実現に向けた取り組み	7
守山区の概要	15
「第4次守山区地域福祉活動計画」の概要	17

表紙に登場するキャラクター



モリスちゃん

守山区のマスコットキャラクターです。守山区の木どんぐりの実をいつも持っていて、どんぐりの帽子をかぶっています。いつも守山区を歩き回っているため、守山区のことなら何でも知っています。



はにわうじたける
埴輪氏武 しだみこちゃん

平成31年4月にフルオープンした「歴史の里しだみ古墳群」のマスコットキャラクターです。埴輪氏武はしだみこちゃんの付き人をしています。

はじめに

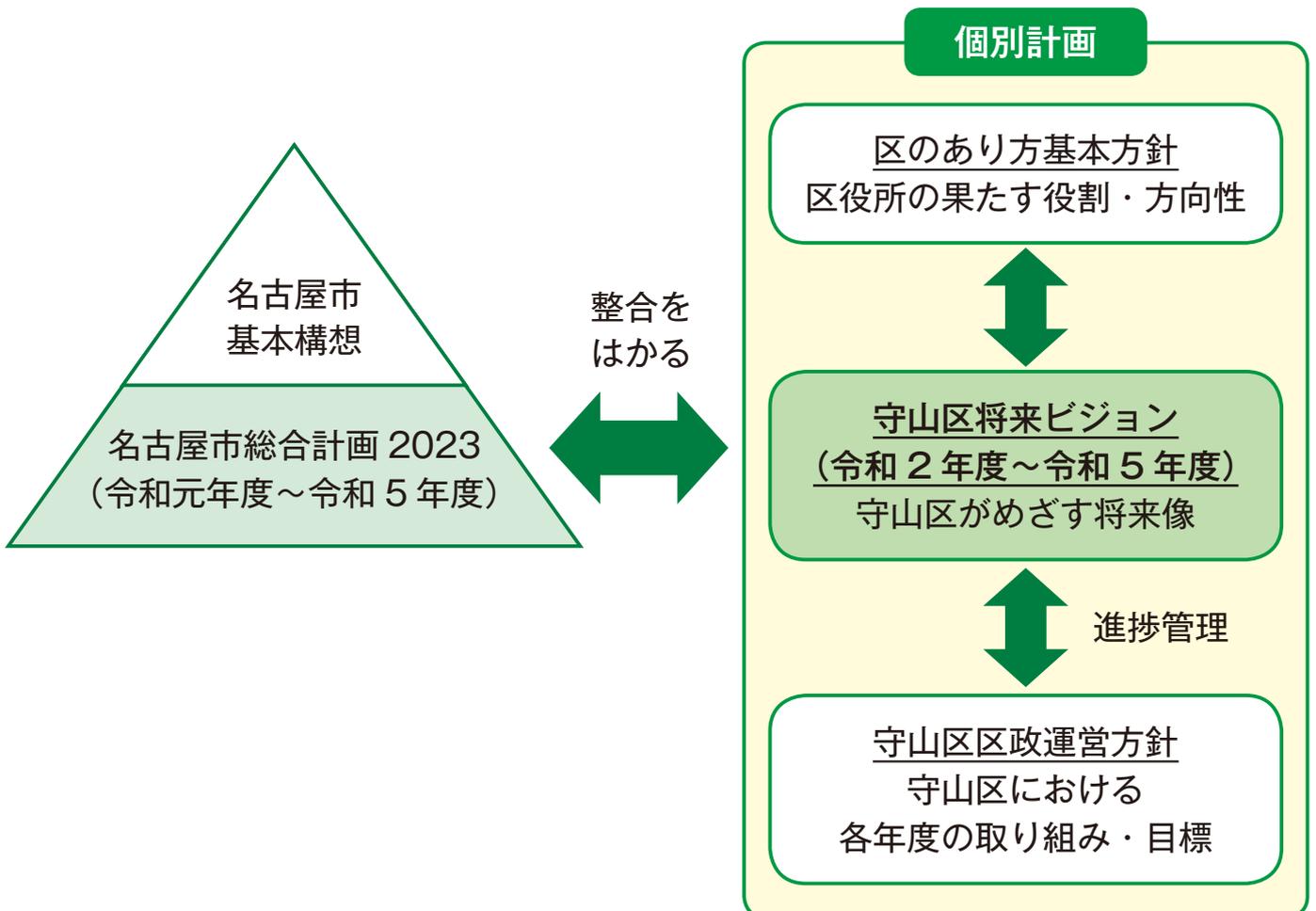
「守山区将来ビジョン」とは、平成 29 年 3 月に本市が策定した「区のあり方基本方針」に基づき、守山区を取り巻く社会状況の変化を踏まえ、めざすべき区の将来像を明らかにし、その実現に向けた中長期の取り組みを体系化したもので、「名古屋市総合計画 2023」の個別計画に位置付けられるものです。

ビジョンの計画期間は令和 2 年度から令和 5 年度の 4 年間で、ビジョンに基づき実施する各年度の事業をお示しするものとして「守山区区政運営方針」を策定し、「守山区区政運営方針」において「守山区将来ビジョン」の進捗管理を行います。

策定にあたっては、区民会議を中心とする検討やワークショップ、アンケートなど意見募集を行い、多くの皆さまにご協力、参画いただきました。

ビジョンの実現に向けて様々な課題の解決を図るため、区役所を始めとする関係行政機関や区民の皆さま、関係団体、企業、教育機関等が一体となった施策を推進してまいります。

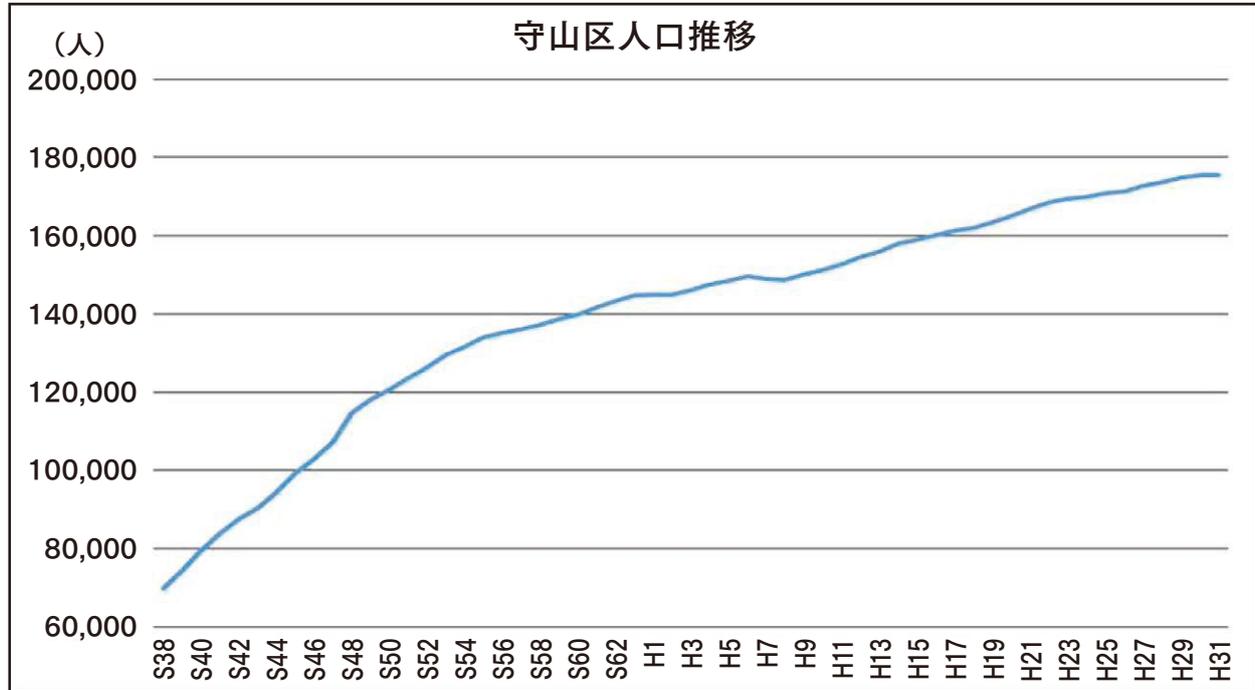
区民の皆さまとともに地域とともに、守山区をさらに魅力あるまちとしていくため、より一層のご支援とご協力をお願いいたします。



守山区の特性と課題

✓ 人口の増加

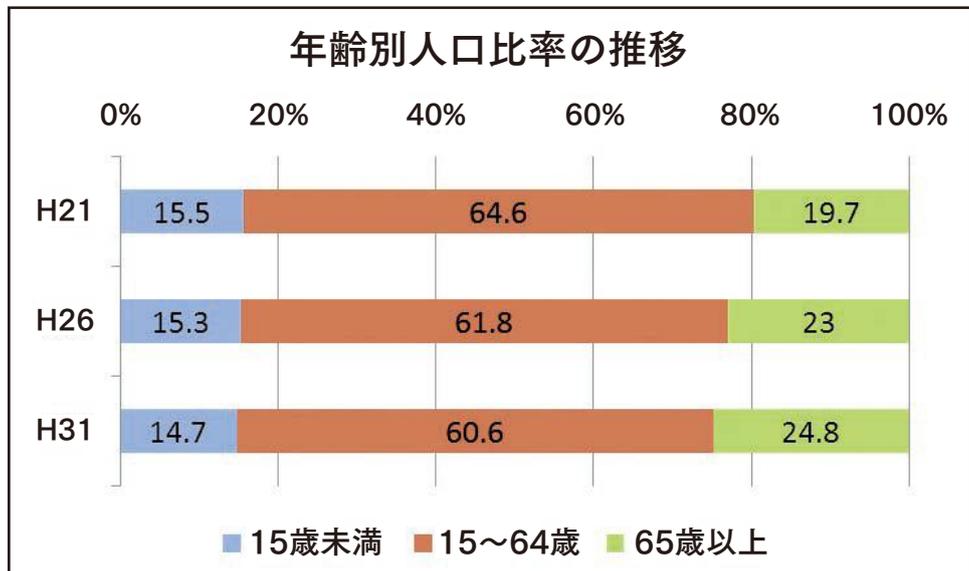
志段味地区の開発や区内の都市基盤の整備により、守山区の人口は年々増加しています。平成31年4月1日現在で175,543人であり、全16区中3番目に人口が多いです。



(各年4月1日現在)

✓ 進む少子高齢化

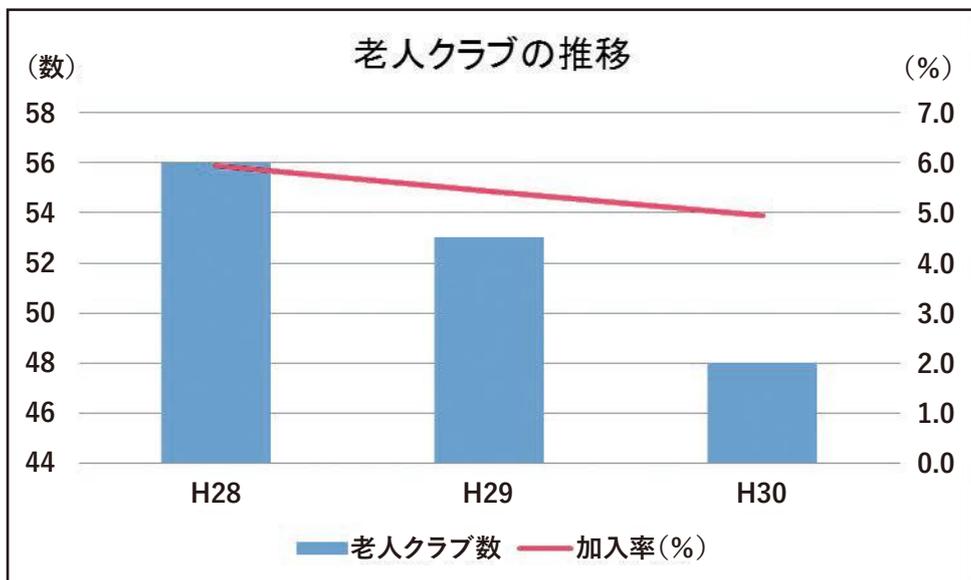
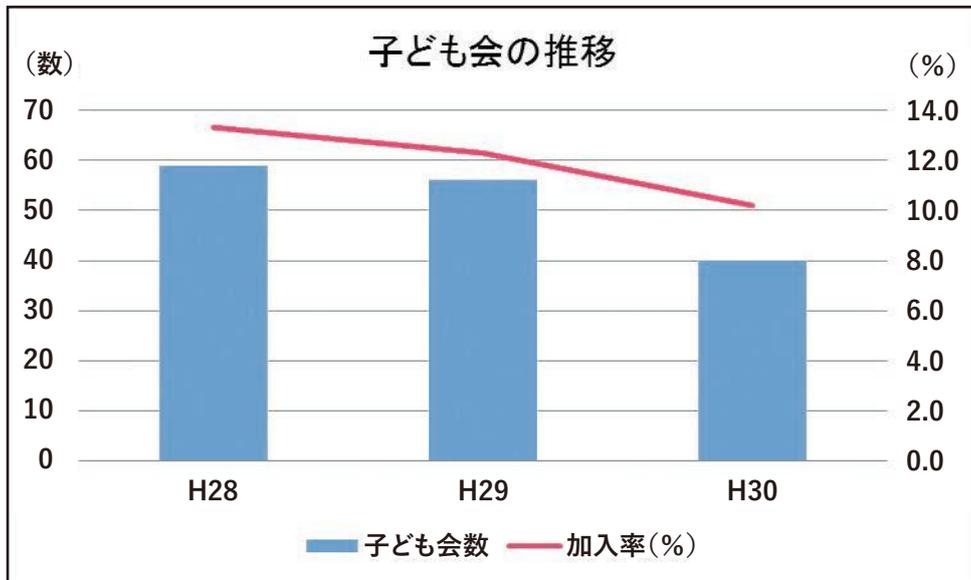
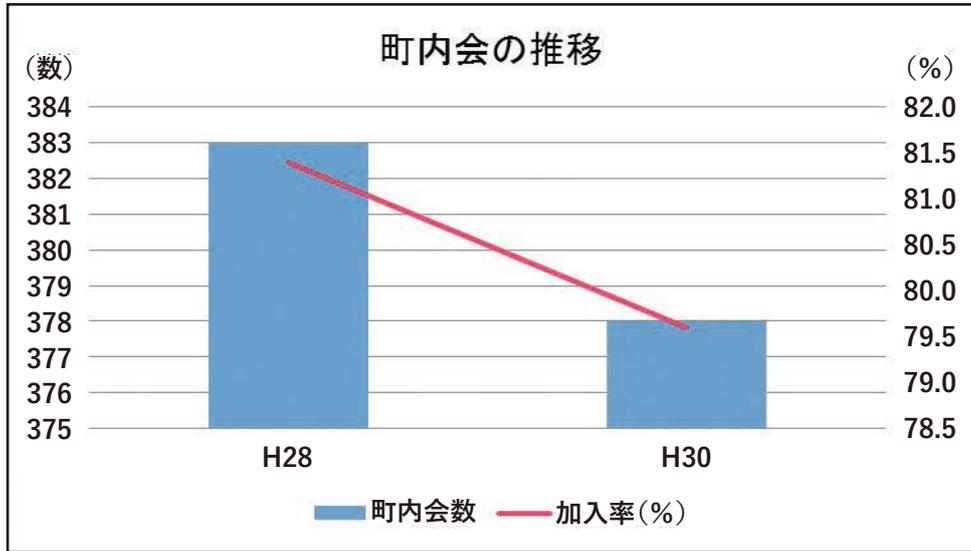
守山区の15歳未満の人口比率は14.7%と年々低くなっています。また、65歳以上の人口比率は24.8%となっており、約4人に1人が高齢者である高齢社会です。



(各年4月1日現在)

✓ 地域とのつながりの希薄化

人口増加やライフスタイルの多様化などにより、地域とのつながりが希薄傾向にあります。



(各年 4 月 1 日現在)



✓ 「文化と緑」のまち

名古屋市内では、200基以上の古墳が確認されていますが、そのうちの約140基が守山区で確認されており、そのなかでも66基が上志段味で確認されています。平成26年10月には、上志段味で確認されている7基の古墳が日本の古墳時代を知るうえで重要な古墳であるとして、「志段味古墳群」という名称で国の史跡に指定されました。その他にも、棒の手、神楽、木遣りといった郷土芸能にも恵まれています。

また、守山区は小幡緑地、八竜緑地、白沢渓谷など、豊かな水と緑あふれる自然にも恵まれており、守山区の緑被率は16区中1位です。そして、守山区には、絶滅危惧種に指定されている樹木「マメナシ」が数多く生育しています。(国内の自生木は約350本しかなく、そのうちの約4割が守山区に生育)



志段味古墳群



八竜緑地



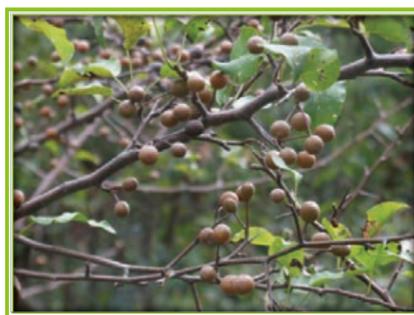
白沢渓谷



棒の手



マメナシの花



マメナシの実

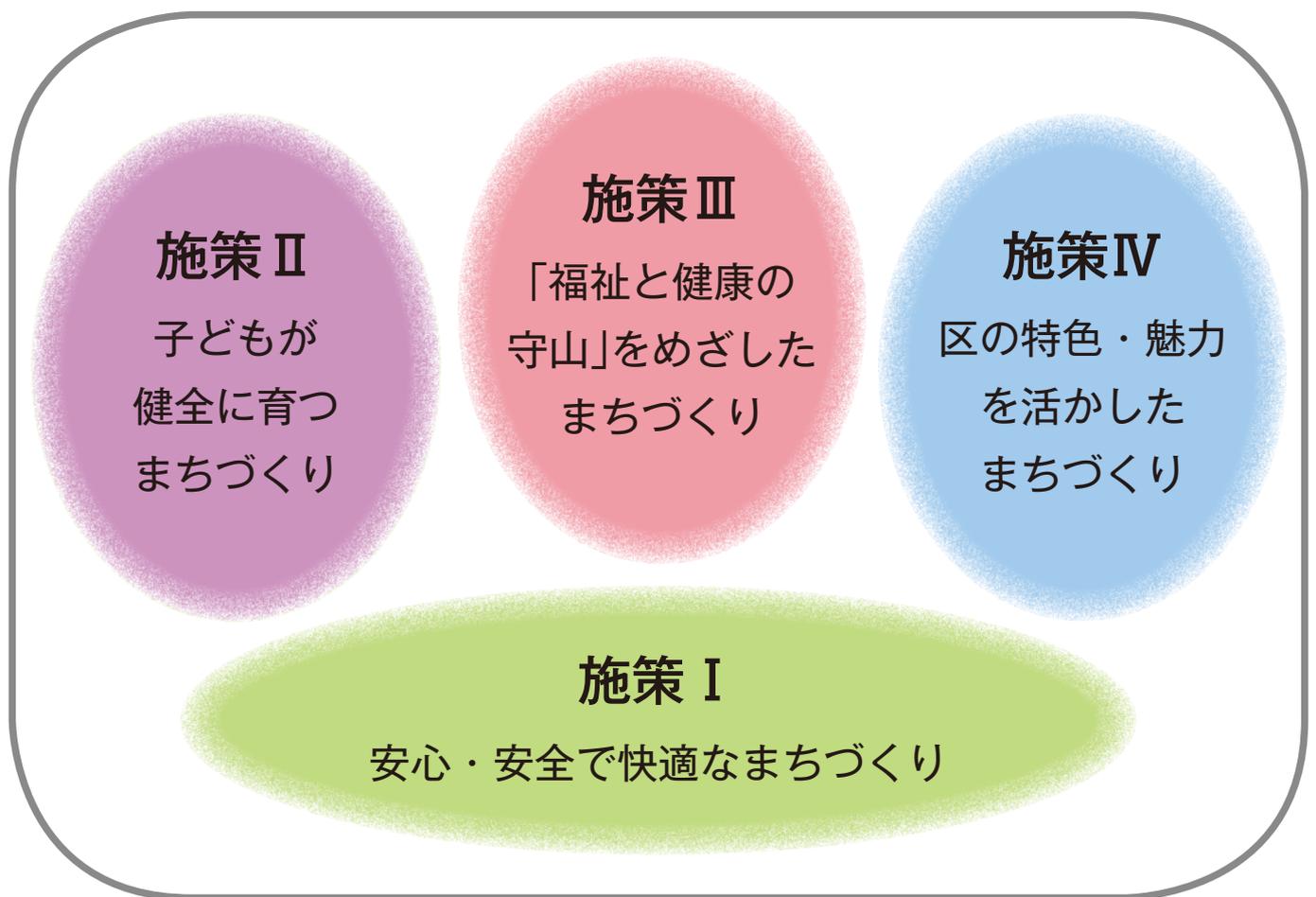


守山区の将来像

「人と自然の調和する 元気あふれるまち守山」を守山区の将来像とし、その実現に向け4つの施策に取り組んでいきます。施策は、施策Ⅰを土台として、施策Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを展開していきます。また、守山区社会福祉協議会が策定する「第4次守山区地域福祉活動計画」(17・18頁参照)と連携・協働していきます。



人と自然の調和する 元気あふれるまち守山



連携・協働

守山区社会福祉協議会
「第4次守山区地域福祉活動計画」

将来像の実現に向けた取り組み

I 安心・安全で快適なまちづくり

施策 I - 1

地域の防災活動を推進します

守山区は庄内川と矢田川に接しているため、過去に浸水による被害が発生しています。また、南海トラフ巨大地震の発生も懸念されていることから、災害への備えが必要です。

そのため、地域住民と職員が一体となって、地域防災力の向上をめざします。

成果指標

指 標	現 状 (平成 30 年度)	目 標 (令和 5 年度)
中学校で防災訓練、講演会を実施	8 校	毎年度 2 校以上
指定避難所開設・運営のためのリーダー研修・訓練を実施	全学区	全学区

施策 I - 2

犯罪被害の防止に努めます

犯罪の認知件数は減少傾向にあるものの、特殊詐欺や住宅対象侵入盗、自動車関連窃盗の被害が出ています。守山区で定めた重点罪種について、それに対する防犯対策を強力で推進していきます。



成果指標

指 標	現 状 (平成 30 年度)	目 標 (令和 5 年度)
「重点罪種被害防止対策」を実施し、認知件数を減少	215 件	前年件数未満

施策 I-3

交通安全を啓発します

平成 30 年、令和元年と死亡事故が区内で発生、平成 30 年 3 月からの守山スマートインターチェンジの供用開始に伴う通行量の増加により、交通事故の懸念が増大しています。高齢者ドライバーや自転車利用者の走行問題は守山区でも例外ではありません。多発する交通事故を喫緊の課題として、地域・関係機関と協働し、子どもをはじめ高齢者に対しても積極的に交通安全の啓発活動を行います。

成果指標

指 標	現 状 (平成 30 年度)	目 標 (令和 5 年度)
交通事故件数を抑制	733 件	前年件数未満

施策 I-4

清潔で住みよい環境づくりをめざします

守山区内の都市基盤整備の進捗に伴い、急速な人口増加がみられることによるごみの増加が懸念されています。また、犬・猫による迷惑を防止し、快適な環境づくりを行うことが求められています。地域、学校、行政が協働して、美化・緑化活動やごみ減量意識の普及啓発活動などを展開するとともに、犬・猫の飼主等に対するマナーアップ啓発活動も併せて行っていきます。



成果指標

指 標	現 状 (平成 30 年度)	目 標 (令和 5 年度)
全市一斉クリーンキャンペーンを中心とした地域の清掃活動への参加者数を増加	14,024 人	前年参加者数以上
イベント等で飼主のマナー啓発資料を配布	2 回	毎年度 2 回以上

II 子どもが健全に育つまちづくり

施策Ⅱ-1

地域で連携した子育て支援を推進します



人口増加やライフスタイルの多様化により、地域と子どものつながりが希薄になりつつあります。様々な地域団体と連携して、地域に密着した子育て支援を推進します。

成果指標

指 標	現 状 (平成 30 年度)	目 標 (令和 5 年度)
守山区内の子育て支援機関で構成する子育て支援ネットワークと連携し、各種事業を実施	実施	継続実施

施策Ⅱ-2

妊娠期からの切れ目のない支援に努めます

地域と子どものつながりが希薄化する中、子育て中の保護者の育児不安の解消、孤立化の防止といった支援が必要です。妊娠届出の機会のみではなく、妊娠後期に必要な情報発信なども行っていきます。

成果指標

指 標	現 状 (平成 30 年度)	目 標 (令和 5 年度)
妊娠期からの支援	実施	継続実施

施策Ⅱ-3

親子が集う場や子育て講座・教室を提供します

子どもたちが地域に愛着を持ち、健やかに育つように、地域で親子が交流できる場や機会を積極的に提供していきます。

成果指標

指 標	現 状 (平成 30 年度)	目 標 (令和 5 年度)
「もりやまっこ子育て広場」 来場者数	984 人	1,000 人
子育てサロンへの子育て応 援講師の派遣	21 か所	23 か所

施策Ⅱ-4

子どもの健全な成長を支援します



子ども会合同のオリエンテーリング大会や綱引大会、リーダー講習会の開催、名古屋まつり「子ども会みこしパレード」への参加など、様々な活動の支援を通して子ども会への関心が高まるよう子ども会活動の情報を発信することで、子どもの活動の輪を広げます。

成果指標

指 標	現 状 (平成 30 年度)	目 標 (令和 5 年度)
主な子ども会活動への延べ 参加者数	749 人	750 人

Ⅲ 「福祉と健康の守山」をめざしたまちづくり

施策Ⅲ－1

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らせるように支援します

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を推進します。

成果指標

指 標	現 状 (平成 30 年度)	目 標 (令和 5 年度)
守山区地域包括ケア推進会議の運営による地域包括ケアシステム構築の推進	実施	継続実施
モリスちゃんのアクティブシニアチャレンジポイント事業における協賛品の抽選応募条件達成者数	498 人	650 人
「地域支えあい事業」の実施学区数、生活支援活動件数 ※守山区社会福祉協議会が策定する「第 4 次守山区地域福祉活動計画」と連携した事業です。	4 学区 348 件	6 学区 400 件



施策Ⅲ-2

援助が必要な方へのサポート体制の充実を図ります

障害の有無にかかわらず、誰もが人格と個性を尊重され、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、すべての区民に障害への正しい理解を深めていただくとともに、障害者・難病患者とそのご家族へのサポート体制を充実させていきます。

成果指標

指 標	現 状 (平成 30 年度)	目 標 (令和 5 年度)
「「集まれ！チャレンジド」に参加して有意義であった」と回答する割合	95%	95%以上
「神経難病患者・家族のつどい」を開催	6 回	継続実施

施策Ⅲ-3

がんの早期発見と健康づくりを推進します

がん検診を日曜日に開催する、子育て世代の女性に向けた乳がん早期発見の教室を実施するなど、健康づくりに取り組みます。



成果指標

指 標	現 状 (平成 30 年度)	目 標 (令和 5 年度)
胃がん・大腸がん・乳がん検診の受診者数 (保健センター実施分)	506 人	600 人
乳がん自己触診法教室を開催	34 回	継続実施

IV 区の特徴・魅力を活かしたまちづくり

施策Ⅳ-1

区民相互のふれあいと交流の場を創出します

地域に愛着と誇りを持ってもらうために、幅広い世代が交流できる場を創出し、区民相互のふれあいや連携・交流の活性化を図ります。



成果指標

指 標	現 状	目 標 (令和5年度)
「元気まつり守山」の来場者数、 来場者満足度 <small>※平成30年度は台風により中止となったため、令和元年度の実績を記載しています。</small>	(令和元年度) 48,000人 99%	50,000人 100%
「守山区の日記念事業」の来場者数、来場者満足度	(平成30年度) 300人 100%	400人 100%

施策Ⅳ-2

豊かな水と緑の保全や広報に努めます

守山区は豊かな水と緑あふれる自然に恵まれています。この貴重な自然を次世代に引き継いでいくための保全活動やPR活動、区内農家の支援に取り組みます。

成果指標

指 標	現 状 (平成30年度)	目 標 (令和5年度)
守山区内自然保護団体と連携したスタンプラリーの参加者数	3,300人	3,300人
「農産物品評会」の来場者数	400人	400人

施策Ⅳ－3

歴史や伝統を伝える人材の育成を図ります

守山区には歴史的遺産も数多く存在します。守山区内の史跡・名所や志段味古墳群のガイドを通して、守山区の魅力を伝える人材の育成を図ります。



成果指標

指 標	現 状 (平成 30 年度)	目 標 (令和 5 年度)
「ええとこ守山案内人」参加者数	12 人	20 人
「歴史の里マイスターの会」参加者数	46 人	70 人

施策Ⅳ－4

文化・芸術・スポーツ・社会教育活動を支援します

文化・芸術・スポーツ・社会教育活動について、区民の皆さまと協働して活性化を促進し、区民の皆さまの交流を図ります。

成果指標

指 標	現 状 (平成 30 年度)	目 標 (令和 5 年度)
「守山文化祭」の来場者数	1,030 人	1,300 人
「区民美術展」等、各種展覧会の来場者数	1,968 人	2,200 人

守山区の概要

沿革

明治 39 年 7 月 16 日 高間、二城、小幡、大森の四村が合併し、守山町が誕生
同日 志談村と上志段味村が合併し、志段味村が誕生
昭和 29 年 6 月 1 日 守山町と志段味村が合併し、守山市が誕生
昭和 38 年 2 月 15 日 守山市が名古屋市と合併し、本市 13 番目の区として
守山区が誕生

シンボルマーク

守山の頭文字「M」と「山」を組み合わせデザイン化したもの。丸形の「M」が区民相互のふれあいの豊かさを、全体で鳥が大空へ飛び出すごとく、伸びゆく守山を表しています。



守山区の面積は 34.01km²です。
これは全 16 区中 3 番目の
大きさです。



区の木「どんぐり」
昭和 63 年 2 月制定。
山地に自生するクヌギ・アベマキ・コナラなどの実を「どんぐり」と呼んでいます。



区の花「ききょう」
昭和 63 年 2 月制定。
初夏から晩秋にかけて、直径 5 cm ほどの広鐘形で青紫色の花を咲かせます。日当たりのよい山地や野原などにみられる多年草です。

守山区イメージソング「We Love MORIYAMA！」

平成 25 年の守山区制 50 周年を記念して作成しました。
広く区民の皆さまの耳に届けることで、守山区の良さ・
魅力の P R に努めます。

【作詞・作曲】 なかむらまさみ

【歌詞】

1 庄内川と矢田川が 心をいやすように
どんぐりとキキョウの花の 守山を流れる
水と緑の豊かさが 心うるおしながら
やさしさと笑顔育み みんな元気でいこう
17万の一人ひとりが 幸せになるために
白沢の溪谷 小幡緑地 ずっとずっと見ているよ
鳥が空に飛び立つような 大きな夢をもとう Wow
I Love We Love みんなだいすき MORIYAMA！だいすき！

2 名古屋城から長野への 善光寺街道は
街並みは変わったけれど 道は昔のまま
棒の手 神楽 木遣りなど 歴史に学びながら
やさしさと笑顔育み みんな元気でいこう
心と心つながりあって 幸せになるために
白鳥塚や龍泉寺 ずっとずっと語ってる
愛が宿る住みよい街を みんなでつくりあげよう Wow
I Love We Love みんなだいすき MORIYAMA！だいすき！

3 木曽川からの水の上 矢田川が流れてる
その上を人や車と「ゆとりーと」行き交う
明日につながる夢色が きらきら光りながら
やさしさと笑顔育み みんな元気でいこう
子どもや大人一人ひとりに 幸せの種がある
フルーツパーク 東谷山 ずっとずっと歌ってる
種を育て花を咲かせる みんなの心いっしょ Wow
I Love We Love みんなだいすき MORIYAMA！だいすき！

鳥が空に飛び立つような 大きな夢をもとう Wow
I Love We Love みんなだいすき MORIYAMA！だいすき！



庄内川



小幡緑地



龍泉寺



東谷山



ゆとりーとライン



「第4次守山区地域福祉活動計画」の概要

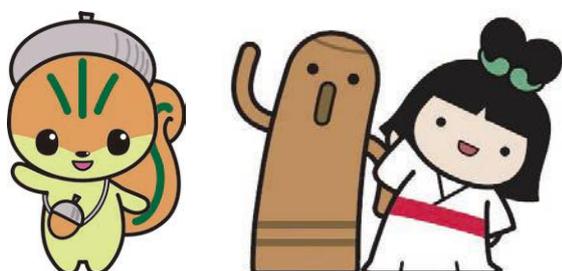
令和元年7月に守山区社会福祉協議会が策定した「第4次守山区地域福祉活動計画」は、「誰もが安心して暮らせる「福祉のまち守山」を目指して！」を理念とし、世代や対象を問わず、区民一人ひとりの生活の困りごとを解決するための基盤づくりを進めるため、5つの基本計画をもとに、10の実施計画に取り組んでいます。

計画期間は令和元年度から令和5年度までの5年間です。年度ごとに進捗状況の評価と必要に応じて見直しを行いながら実践を進めています。

「守山区将来ビジョン」は、「第4次守山区地域福祉活動計画」と連携・協働し各種事業を行います。



第4次守山区地域福祉活動計画



誰もが安心して暮らせる 「福祉のまち守山」を目指して！

しごとづくり

誰もが活躍できる場の創設を目指します。

- ① 地域の人が集える居場所づくり ～あつまれ場ええがね～
- ② 緑地資源を活用した多世代交流 ～自然の力で仲良くなるう～

健康づくり

新たな健康ツールを通じて、一層の健康づくりを目指します。

- ③ 誰もが楽しめる健康づくり ～みんなで一緒に肩もみ、てくてく～
- ④ 種から育む健康な食生活
～みんなで一緒にサクサク(作)、シヨクシヨク(食)～

子どもの活躍場づくり

子どもたちが主役となって、心身の成長を目指します。

- ⑤ 子どもから発信する地域活動 ～こどもがわくわくもりやま区～
- ⑥ 子どもが担う地域活動 ～子どもがはりきる×地域はハッピー～

つながりづくり

広報と福祉学習をキーワードに顔の見える関係づくりを目指します。

- ⑦ 多様な層に伝える広報の実施 ～#福祉の守山をみんなに～
- ⑧ 福祉学習を通じたつながりづくり
～世界が広がるちょっといい&今さら聞けないお話会～

進め！「我が事・丸ごと」

区社会福祉協議会の機能強化を目指します。

- ⑨ 身近な場所で気軽に集える総合相談機能の拡充
～『よろづ相談所(機能)』づくり～
- ⑩ 新たな地域の担い手につながる気づきの場づくり
～『ご近所ふくし楽習会』の開催～



〒463-8510 名古屋市守山区小幡一丁目3番1号
守山区役所区政部企画経理室
TEL：052-796-4648 FAX：052-796-4508
電子メール：a7964648@moriyama.city.nagoya.lg.jp
ウェブサイト：<http://www.city.nagoya.jp/moriyama/>



○発行/名古屋市守山区役所 ○発行年月/令和2年5月 ○発行部数/1,000部
この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。